

DOCUMENTARY LINGUISTICS WORKSHOP 2008

期間：2008年2月14日(木)～2月17日(日)

場所：アジア・アフリカ言語文化研究所
大会議室(303室)、マルチメディア会議室(304室)

講師：Peter Austin, David Nathan(SOAS, University of London)

目的：言語のドキュメンテーションに関する諸問題，留意点について
考えると同時に，研究を支える学問的・記述的知識を身につける

対象者：フィールドワークを通して記述的研究を含む言語のドキュメンテーションに関わりたい・関わってきた若手研究者

	2/14(木)	2/15(金)	2/16(土)	2/17(日)
10:00～11:20		音声記録の基本	データマネージメント; データフォーマット	Grant Proposal Writing
11:30～12:50		音声記録の実践	データ処理の実践; メタデータ	倫理の問題
13:00～13:50	登録・講師との対面	lunch	lunch	lunch
14:00～15:20	ドキュメンテーションとは何か	Transcriber を活用した データ書き起こし	Toolbox	アーカイブデータ作成
15:30～16:50	コーパス構築; 作業グループ作り	録音データの評価	辞書構築 (Toolbox 応用編 +LexiquePro)	まとめ

■ は、公開（それ以外は、非公開です）。

共催：アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研)
グローバル COE 「コーパスに基づく言語学教育研究拠点 (CbLLE)」